

「新たな日常」を見据えてデジタル環境整備などを推進」と答弁 上野議員の総括質疑で市長

市議会3月定例会 2月26日に開会

3月議会初日の2月26日、市長提案に引き続き総括質疑議案に対する質疑が行われました。日本共産党議員団は、上野議員が代表して質疑を行い、次の点をたどりました。

Q コロナ対策では、どのような思いで予算を編成したのか。

A 2月から国内でワクチン接種が始まったが、市民生活が元に戻る時期を見通すことは難しい。そこで、新しい働き方やライフスタイルが定着した「新たな日常」を見据え、地域の活性化やデジタル環境の整備を推進することとした。

主な取組は、コロナ禍による環境変化に応じたネット販売への支援やサテライトオフィス誘致やワーキングスペースの整備の支援、市への移住促進の家賃支援などである。

Q 原子力災害でのより実効性の高い避難体制の確立はいつまでにどのようなことを行うのか。

A 現在、「柏崎刈羽地域原子力防災協議会の作業部会」で協議・検討されている。

一例として、避難に必要なバスは、県が昨年10月に県バス協会と協定を結んだ。また、感染症対策では、避難所における「感染症に対応した運営マニュアル」の素案作成を進めている。

さらに、安定ヨウ素剤の配布マニュアルや配布場所、スクリーニング候補地の追加選定も、関係市町村で協議・検討を進めていく。

このように、少しずつ前進してきているが、豪雪への対応など新たな課題も含めて一定の時間を要すると思う。

Q 新型コロナウイルスの検査では、助成対象を施設の新規入所者などごく一部の市民に限ったのはなぜか。

A 厚生労働省による高齢者等を対象とする助成事業を活用して取り組んでおり、検査対象者は、ひとたび感染が広がると影響が極めて大きくなる介護保険施設、障害者福祉施設の利用者等としている。

Q ワクチン接種の体制整備、スタッフの確保の見直しはどうか。また、集団接種は8か所程度で全市民を網羅できる見通しか。委託医療機関での接種では、通常診療との整合性をどのようにとるのか。

A 現在、接種会場や物品の配置、接種通知の発送など、準備を進めている。スタッフも、多くの医師

や看護師の皆さんから協力可能との回答を得ており、接種は可能と考えている。

また、集団接種は各会場とも1時間に180人程度の接種者の収容が可能な会場を手配しているほか、かかりつけ医などの医療機関での個別接種や介護保険施設等での集団接種を推計した上で必要な実施回数等を検討しており、すべての希望者に接種できる体制を整える。

かかりつけ医などでの個別接種では、完全予約制とするなどのことや、インフルエンザ予防接種の経験に基づいてワクチン接種専用の曜日や時間を設けることなどの対応を検討していることである。

Q 豪雪被害の復旧の前段として、倒壊したハウス等の撤去と処理が必要だがどう対応するのか。

A 倒壊した農業用ハウス等の撤去と処分は、再建を行う場合には解体などの経費が支援される。

一方、再建の有無にかかわらず処理施設や市が指定する特定集積所まで持ち込めば、農業者の負担なく市が処理する。

なお、既に撤去を行ったり復旧に向けた施工等を行ったりした場合でも、発注書や納品書、領収書などの書類があれば、補助事業の計画承認前でも国の支援の対象となる。

Q 水族博物館のイルカ飼育展示施設の機能向上工事に当たって、鯨類飼育環境検証委員会の提言をどう反映させたのか。

A 検証委員会の検証結果では17項目の提言が示された。教育委員会では、この提言を受け止め、対応の検討を進めていく。新年度は、検証結果の要点である日本海側と太平洋側の気象条件の差を考慮し、イルカプールへの防風壁の設置、イルカプール及びふれんどプールへの日除けの設置を計画している。



国の補正予算受け コロナ対策予算を先行議決

3月議会では、国の第3次補正予算を受け、新型コロナウイルス感染症対策の各種の施策を盛り込んだ約40億円の補正予算が、他議案に先駆けて、3日に先行議決されました。

主な内容は次の通りです。

- ◇利用者が減少している県内の高速バス運行事業者への支援
- ◇私立保育園などへのマスクや消毒液など感染症対策物品の購入費支援

- ◇新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備と医療従事者へのワクチン接種
- ◇小・中学校の感染症対策物品等の追加購入費の増額
- ◇担い手確保に取り組む農業経営体への機械整備の支援
- ◇県営土地改良事業の一部の前倒し
- ◇上越産品のネット販売支援
- ◇中小企業者チャレンジ応援事業補助金
- ◇店舗等改装促進事業補助金

- ◇事業者経営支援金
- ◇道田川の改修や高田城址公園・五智公園の施設更新
- ◇道路整備や橋梁修繕、消融雪施設の更新などの一部を前倒しして実施
- ◇除雪費の増額
- ◇黒田小学校と直江津中学校の大規模改造工事の前倒し実施
- ◇大雪被災農業用ハウスなど農作業施設や農業機械等の復旧経費の一部補助

上越保健所管内感染症患者発生状況

(2月26日現在)

PCR検査実施件数	5824件(前週+576)
感染症患者数	72人(上越市内66人)
陽性率	1.24%(前週0.82%)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.697 2021年3月7日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))